

HOPE ミーティング - Art in Science -

- 将来のアジア太平洋地域の科学研究を担う優秀な若手研究者を育成するため、ノーベル賞受賞者等の卓越した研究者との交流機会を提供
- アジア太平洋の14カ国・地域から選抜された約100名(うち日本人約30名)の博士課程の大学院生が参加
- テーマの「Art in Science」は、この会議をきっかけにして科学を志す若者が「科学の美しさ」を自ら体現していくことを期待して設定
- 日本人参加者が国際的なグループでの議論のまとめ役を果たすなど、リーダーシップが涵養される

- 第1回(2008年2月、茨城県つくば市):「ナノサイエンス・ナノテクノロジー」
組織委員長: 江崎玲於奈博士(1973年ノーベル物理学賞)
- 第2回(2009年9月、神奈川県箱根町):「化学」
組織委員長: 野依良治博士(2001年ノーベル化学賞)
- 第3回(2011年2~3月、東京)(予定):「物理学」
組織委員長: 小林誠博士(2008年ノーベル物理学賞)

